

～実際に働いて感じたこと 先輩職員の声～



新しいことに チャレンジできる職場

成田税関支署情報管理官付調査官

【令和元年度選考採用】

「安全・安心な社会の実現」のために

私は警察官の時に薬物捜査に従事しており、不正薬物等が国内に流入することを未然に防ぐことの重要性を感じていたため、不正薬物等の密輸入を水際で取締まり、「安全・安心な社会の実現」を目指している税関の業務に携わりたいと思い、税関を志望しました。

私は入関後、成田税関支署に配属され、旅具通関部門と審理部門を経て、現在は情報管理官に勤務しています。旅具は交番勤務、審理は刑事課のようなイメージで、警察業務での職務質問や捜査の経験が活かされたかと思いますが、新しく覚えるべきことも多く、やはり警察と税関では違う面も多々あり、戸惑うこともありました。現在の情報管理官では、密輸入のトレンドや情報を分析し、それを職員に周知することで水際取締りの強化を図るといった「縁の下の力持ち」的な役割を担い、今までの経験とは全く関係のない新しい分野の業務ですが、とてもやりがいを感じています。税関の業務は多岐に亘るため、部署異動をすると転職したかのように業務が一変しますが、研修制度も充実していて、周りもサポートしてくれるので安心です。

ワークライフバランスを実現

私は、これまでに警察や民間企業で働いてきた経験がありますが、税関はとても働きやすい環境だと思います。年次休暇等の取得もしやすいので、私生活を充実させることができます。また幸運にも、人間性が高く知識や経験が豊富な上司や同僚に恵まれ、とても雰囲気の良い職場で勤務できています。

これまでの経験を活かせる業務もいいですが、これまで自分が経験したことのない新しい業務にも積極的にチャレンジしていきたいと思っています。

また、いい意味で税関に染まらず、常に広い視野を持ち、様々な角度から客観的に組織を見て、業務や職場の雰囲気の改善に努めていけたらと思っています。



日々の自己研鑽で 成長できる職場

羽田税関支署統括監視官
(取締部門担当)付監視官

【令和2年度選考採用】

前職の知識を基にスキルアップ

私は、出入国在留管理庁で約14年間勤務し、「ヒト」の国境移動の管理に従事してまいりました。もともと税関業務に対する関心はあったところ、前職での業務を続けて行く中で、例えば空港内等において、税関職員の活躍を目にする機会も多々あり、自分の中で「ヒト」だけでなく「モノ」の国境管理の業務にも従事してみたいという気持ちが強くなり、「ヒト」と「モノ」の国境管理のスペシャリストになるべく選考採用試験に応募いたしました。

現在の職場は、自分よりも若い職員が多く、活気に満ち溢れており、そのエネルギーに圧倒されることもしばしばありますが、現在の職場に限らず、職場の雰囲気はとても良いと感じています。私自身、いまだに税関業務に関する知識が浅く、覚えることばかりですが、先輩や上司にも気軽に質問・相談ができるので、不明点等をひとつひとつ解消していきながら少しずつ業務に慣れていくことができています。

また、税関で実際に仕事をしてみて、ワークライフバランスに対する配慮がなされており、とても働きやすい職場であると感じています。特に職場全体として男性の育休取得に対する理解が浸透しており、私自身も子どもが出生した際に育休を1か月間取得することができたおかげで、初めての育児に専念することができました。

終わらない勉強の日々

税関での業務は、様々な法令の知識が求められるとても難しいものだと感じています。例えば、貨物の輸入通関手続を審査する場面では、関税法等の財務省が所管する法令のみならず、他省庁が所管する法令の知識までも求められることが多々あるため、正確な業務のためには法令等に関する幅広い知識が必要となります。裏を返せば、覚えることが多い分、自分自身の成長の伸びしろがあるともいえ、モチベーション次第でいかようにもスキルアップができる職場だと思います。選考採用職員として採用されて4年目を迎えていますが、いまだ税関業務に関する知識は全く不十分です。これからも日々研鑽を重ね、税関職員として成長していきたいと思っています。



幅広い業務で 成長できる職場

羽田税関支署統括監視官
(旅具通関部門担当)付監視官

【令和2年度選考採用】

前職の知識・経験で密輸阻止に貢献

前職ではコーヒー生豆やコーヒー関連機器、資材の輸入専門商社で約10年間勤めており、主に営業職を担当しておりました。アジアや南米に5ヶ国の海外出張経験があり、海外の生産者との商談を進めていく中で、必ずしも海外は日本のように平和な国ではなく、お金を得るために非合法な手段で密輸を目論む人が多くいるということを目の当たりにし、私も日本の安全・安心を守ることの一翼を担えたらと思い、選考採用試験に応募しました。

多岐にわたる業務と充実した研修制度

入関後は本関での業務部特別通関部門を1年間経験し、2年目以降は羽田税関支署の旅具通関部門で勤務しています。

業務部特別通関部門では通関に関する幅広い業務を行いました。書類審査に始まり、実際に保税蔵置場に出向き貨物確認を行うこともありました。現在の旅具通関部門では海外からの旅客の手荷物検査を中心に、納税の手続き、航空会社に対する対応などの業務を行っています。前職とは仕事内容が異なる点も多く戸惑うこともありましたが、先輩職員から丁寧に教えていただき、何とか業務を遂行することができています。

また、税関では多くの研修が開催されており、一からでも必要な知識を身に着けることが可能です。さらに、職員同士で切磋琢磨して業務を行っているのも、緊張感を持ちつつも安心して仕事をすることができています。

税関の業務は幅広いため、学ぶことはまだ山積みです。今後は旅具通関の分野で経験を積み、スキルを高めて前職の経験で培った知識と体力、忍耐力を活かし、税関職員の一員として密輸防止に向けた的確な検査を実施していきたいと思っております。